様式 4

該当者のみ

公的支援の証明書を提出できない場合の申告書

下記の2点について、家計急変者（原則として父または母）が【事情欄】に詳細に記入してください。

① 公的支援の証明書（国・地方公共団体及びこれに準ずるものとして考えられる独立行政法人・特殊法人等が審査の上、給付・貸与・税の猶予を実施しているものの対象者であることを証明するもの）を提出できない理由。
② 新型コロナウイルス（COVID-19）にの影響により家計が急変した事情。

【事情欄】

※公的支援の証明書に代えてこの申告書を提出する場合は、公的支援の証明書を提出する場合と比べて、審査に時間を要することがあります。

公的支援の証明書を提出できない事由は上記のとおりであり、記載内容に相違ありません。
万が一、申請内容に虚偽があった場合は奨学金を返金することに同意します。

2021 年　　月　　日

住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
原則として父または母

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先（電話番号）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

申請者との続柄（　　）

フリガナ		学籍番号										
奨学金 申請者名												

※黒ボールペン(消せるボールペン不可)で記入してください。
※内容確認のため、電話等でヒアリングを実施する場合があります。
※ご記入いただいた情報は奨学金業務のために使用し、その他の目的には一切使用いたしません。